

中の島公園魅力向上ワークショップ
みんなの公園をもっと魅力的に！



第1回

7月16日(土)

みんなの公園を考えよう!

会場：吹田市立内本町コミュニティセンター

済

第2回

8月20日(土)

公園でやってみたい!を考えよう

会場：吹田市立内本町コミュニティセンター

済

第3回

9月17日(土)

やってみたい!の実験準備!

会場：メイシアター(吹田市文化会館)

済

公園で実際にみんなで実験します

会場：中の島公園内

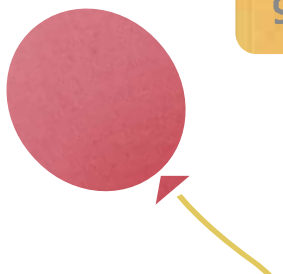
済

第4回

10月29日(土)

公園のイメージをふくらまそう!

会場：吹田市立内本町コミュニティセンター



第5回

11月19日(土)

目指すべき姿の素案を描こう!

会場：吹田市立内本町コミュニティセンター

ふりかえり！

▶ 第3回ワークショップ
「やってみたい！」の実験準備！

と

「公園で実際にみんなの実験します！」▶



実験 A



実験 A : テントたて体験・火起こし体験・クッキング

実験 A：テントたて体験

可能性

- ・実験を行った場所はデイキャンプに最適だと感じた。
- ・小規模でもアウトドア体験できるスペースが作れる。
- ・少しの空き地でも、テントがあるだけでのんびり過ごせる雰囲気になって良い。
- ・大きな設備がなくとも、公園の自然を感じつつ、一日楽しむことができた。
- ・テントをたててゆっくりくつろげるスペースを確保しつつ遊べると、公園の滞在時間に影響する。
- ・グラウンドと川の間は民家とも離れているため、デイキャンプを楽しめる。



- ・民家とも離れており、小規模でもアウトドアは楽しめる！
- ・大きな設備が無くても自然を感じながら、1日ゆっくりアウトドアを楽しめる！

課題

- ・スポーツ施設が大きく、少し圧迫感がある。
- ・草が刈ってないとたてにくく、草刈りが必要となる。



- ・スポーツ施設が大きく少し圧迫感がある。
- ・草地のため、草刈りが必要！

実験 A：火起こし体験

可能性

- ・火起こししてからの課題が良かった。
- ・火をつけるだけでなく、その後のクッキングもとても良かった。
- ・ガールスカウトの方が中心に様々な体験ができたのが貴重だった。
- ・予想以上に盛り上がった。
- ・子どもたちが熱心に取り組んでいてよかった。
- ・小さな子どもにもより大きな火を起こせられそう。
- ・子どもの考える力や普段できない事への挑戦ができ、このようなイベントは必要だと感じた。



- ・ガールスカウト（経験者）の方を中心に貴重な体験ができる！
- ・子どもの考える力や普段できない挑戦ができるイベント！

課題

- ・場所をしっかりと確保する必要がある。
- ・誰が管理していくかが課題である。保護者任せでは不安がある。
- ・大人（経験者）がついていないとできない。
- ・火の管理に気を付けていたが、缶を通り越し、芝が焦げてしまった。
- ・草木が近くにあるため、土や火を使っていい場所を明確にし、ルールを決め行う必要がある。



- ・場所をしっかりと確保する必要がある！
- ・ルールを決め行う必要がある！
- ・保護者任せでは不安！経験者がついているべき！

実験 A : クッキング

可能性

- ・防災食をこのようなイベントで食べられることは貴重な経験となった。
- ・あれだけ、子どもたちの笑顔を見ると、一考したい。住民参加型が成功のカギ。
- ・BBQが出来なくても、防災を意識した体験ができる場所が必要だと思った。
- ・服部緑地のようにアウトドアクッキングエリアをつくることで、ルール化され、利用者マナーも良くなる可能性がある。
- ・川とスポーツ施設の間を有料区画で指定管理する検討をお願いしたい。
- ・カートンドックなど、子どもたちが災害時に役立つ調理を経験することができ、子どもたち自身の気づきがあった。



- ・子どもたちの気づきにつながる！
- ・防災を意識した体験ができる場所は必要！
- ・エリアをつくることで、ルール化され、利用者マナーも良くなる可能性あり！
- ・有料区画で管理する検討も！

課題

- ・衛生面に課題がある。
- ・水道施設を設ける必要がある。
- ・BBQ=焼肉のイメージがあるのだと気づいた。コンロを使って、ナベや色んなクッキングが出来ることを知ってもらう必要がある。
- ・BBQを実際に実験して、みんなで臭い問題や可能性を考えたい。実験せずにNGでは、解決すべき課題も分からない。
- ・公園内での火気の使用について、もっと緩和する必要がある。今回のようなイベント等で火気の使用について考える機会を増やすことが必要。



- ・衛生面に課題があり。
- ・BBQ=焼肉のイメージがある。臭いの問題も実験すべき！
- ・イベント等で火気の使用について考える機会を増やす！

実験B



実験B：水辺カフェ・森カフェ・ポイントラリー

実験 B：水辺カフェ

可能性

- ・川辺は木陰もあり過ごしやすいと感じた。
- ・実験した場所は、マンション等からも距離があり、苦情も少ないと感じた。
- ・週末などに移動カフェが集まったりすると、1日公園で過ごせそう。
- ・ホッと一息できてよかった。
- ・開放感があってよかった。
- ・こだわりの美味しいコーヒーを頂きながらゆっくり過ごす時間は最高でした。川を眺めながらのカフェは実現してほしい。
- ・水辺を眺めながらのコーヒーは最高です。
- ・コーヒー豆の香りで周りを癒す可能性を感じた。
- ・コーヒーは、もっと多くの人を集められ、人の繋がりも増やせそう。



- ・木陰が過ごしやすい、開放感もあって水辺を眺めながらのコーヒーは最高！
- ・コーヒーの香りは周りを癒し、もっと多くの人を集め、繋がりも増やせる！

課題

- ・せっかくの川辺なのに、川を見ることができないので、高台の施設があれば良いと感じた。
- ・水辺・木々・自然と調和するカフェづくりに配慮すべき。
- ・子どもが一緒でも楽しめ、ベビーカー等で利用できるよう配慮すべき。
- ・川を見渡せるカフェづくり。
- ・風が強いので、風防対策があると良い。
- ・お客のアクセス等を考慮したカフェの位置やルートを選択が必要。



- ・水辺を見えるように！
- ・水辺・木々・自然と調和するカフェづくり！
- ・誰もがアクセスしやすい配置とルート整備を！

実験 B : 森カフェ

可能性

- ・とても雰囲気が良い。
- ・ハンモックが子ども達に人気だった。
- ・ロープ等を使って、木登りなど森で色々できれば良い。
- ・気持ちのいい風やこもれび、緑を楽しみながらのハンモック・コーヒーはぜいたくな時間で大人にとっても素敵な楽しみ方だった。
- ・ホッと憩えるカフェ、公園で座れる場所があるのが落ち着いた。
- ・森でのコーヒーは最高です。
- ・騒音が少なく、みどりが多いので、椅子があると自由にくつろげる。
- ・カフェの実験を通して、これまで気にしていなかった周辺の環境や景観に対して注目するきっかけになった。



- ・ハンモックは子ども達に人気！
- ・騒音が少なく、ほっと憩え、贅沢な時間を楽しめる大人にとっても素敵な楽しみ方！
- ・カフェ・図書館・シアター以外にも色々できればよい！

課題

- ・少し暗いので、明るくなればよい。
- ・カフェをつくれる場所を検討する必要がある。
- ・蚊が多い。



- ・樹木を整理し、風通しのよい明るい森に！

実験 B：ポイントラリー

可能性

- ・子どもたちがとても楽しんでいました。
- ・子どもたちがお互い助け合いながら楽しんでいて、良いアイデアだと思った。
- ・ゲームのように楽しめた。
- ・外で遊ぶきっかけになって良い。
- ・スタンプの数を増やせば、ゲーム性も増して、友達や親子でたのしめそう。
- ・子どもがメタセコイアを覚えた。公園や自然について興味や関心を持つ人が増える。



- ・友達と外で遊ぶきっかけになる！
- ・公園や自然について興味や関心をもつ人が増える！

課題

- ・土の園路は散策するには申し分なく、きれいに整地すれば問題ない。
- ・急勾配のコンクリート舗装や舗装の段差が危ない。
- ・川沿いの園路幅が狭い箇所があり、すれ違いにくい。



- ・散策しやすい土の舗装などを活かしつつ、急勾配や段差箇所の解消や、狭い園路の拡幅などを検討を！

実験C



実験C：ミニ運動会・ドッグラン

実験 C : ミニ運動会

可能性

- ・子どもたちが楽しんでいる様子を見て、こんな機会があればすごく良いと思った。グラウンドは普段あまり使えないので、こどもが参加できるイベントがあればうれしい。
- ・モルックがとても楽しく、様々な人が一緒にできるスポーツがとてもいいと思った。
- ・グラウンド全面開放により広々としたところで運動ができ好評である。
- ・ボール遊びやモルックを楽しんでいる様子は良かった。
- ・広いところで遊ぶのは子ども達にとって最高である。
- ・大きなボールなどで、自由に思いっきり遊べたのが良い。子どもたちの楽しむ声が良かった。開放イベントとして使えたら、まだまだ可能性が広がる。
- ・グラウンドが、広くとても気持ちのいい空間だと分かった。



- ・普段あまり使えないグラウンドで、様々な人たちが一緒に楽しめるような開放イベントができれば、まだまだ可能性が広がる！

課題

- ・誰が管理していくかが課題である。保護者任せでは不安がある。
- ・利用上のルールを作って、日常的に自由に使用することができたらいいなと思った。
- ・遊び場とスポーツ広場が共存するメリット・デメリットの整理が必要。(エリア分け等)
- ・グラウンドをどのように開放するかルール決めが必要。
- ・制約が多く、利用が限られているので、もっと柔軟な対応を求めるには、制約の理由を検討する必要がある。



- ・柔軟な運営対応を求めるには、遊び場とスポーツグラウンドが共存するメリット・デメリットを整理し、どのように開放できるかルールを検討する必要がある！

実験C：ドッグラン

可能性

- ・犬だけでなく飼い主同士の悩み相談など交流の機会になる。
 - ・犬の社交教育にも役立つ。
 - ・交流があり、人とのつながりのきっかけになると思う。
 - ・いつもは一人で散歩していたけど、ドッグランで色々な世代の人と話ができてうれしかった。
- 芝生で犬を思いっきり遊ばせることと、犬仲間ができることは最高！
- ・のびのび遊べ、犬同士も飼い主同士も交流が図れ、とても良かった。
 - ・楽しみに来ている方が多かった。
 - ・ドッグカフェのように楽しめたら利用者も増えそう。
 - ・近辺にないため、とても需要があると思う。
 - ・多くの参加者で期待度の高さが伺えた。
 - ・ノーリードで、犬たちが思う存分遊べてよかった。



- ・犬たちが思う存分遊べる場所が近隣になく、需要・期待が高い！
- ・犬だけでなく、飼い主同士の交流の機会になる！

課題

- ・管理が大変かもしれないが、利用者たちで草刈りをするなど、皆できれいに使えるようにすればよい。
- ・苦情＝禁止にせず、犬の鳴き声への工夫を検討し、お互い歩み寄る必要がある。
- ・一部、鳴き声に対してクレームがあったとの事なので、設置場所について課題がある。
- ・クレームがあったが、テニスコート利用者に、事前に丁寧に説明すればよかった。
- ・近隣住民やテニス利用者からの苦情対策が課題。
- ・草刈り、おしっこが与える影響、安全面を考慮する必要がある。
- ・日陰があるとありがたい。
- ・出入口は2枚扉にする等の対策が必要。
- ・小型犬と大型犬が時間制などで分かれていると安心して遊べると思う。
- ・スペースは倍ほどあればもっと良い。 など



- ・鳴き声など近隣や他利用者からのクレーム、草刈り、おしっこ、安全面等課題は多く、設置場所は再検討する必要がある！
- ・利用者達も草刈り清掃等すればよい！

ポイントラリー「川口先生と1kmコースを歩こう」での主なご意見を共有！



本日のワークショップ

第4回 公園のイメージをふくらまそう！

10月29日(土)

会場：吹田市立内本町コミュニティセンター



公園のイメージをふくらまそう！

実験C：ミニ運動会・ドッグラン

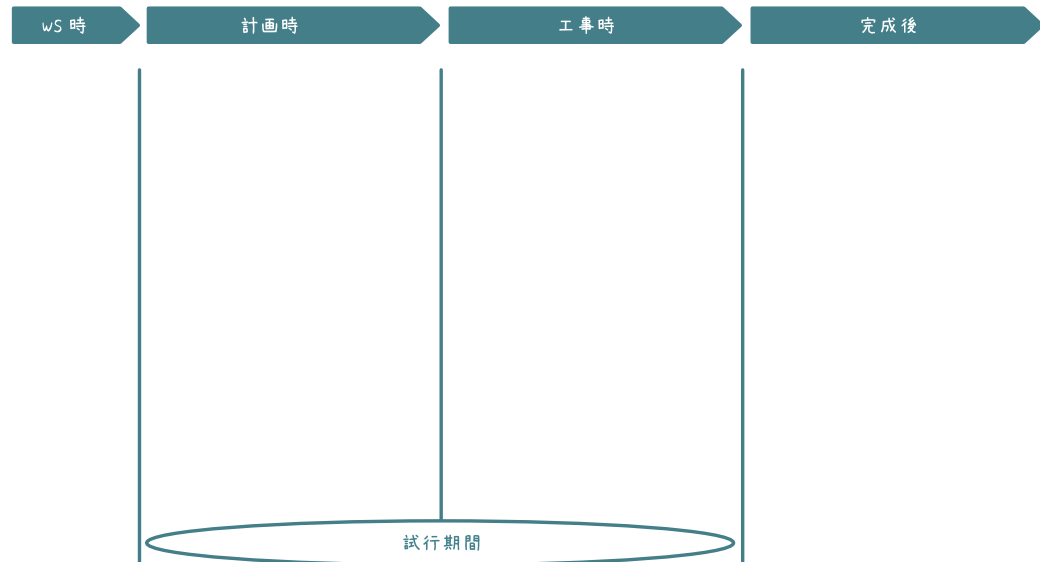
- ・民間事業への期待と可能性。 →
- ・必要なルールや気をつけること。 →
- ・グラウンドの多様な利用の可能性。 →
- ・グラウンドのメンテナンスや利用上必要なルール。 →
- ・みんなで楽しめる遊び場の条件。 →
- ・ドッグランの可能性と課題を確認。 →

●エリアイメージ



●実現に向けてのステップイメージ

整備後の活動も一緒に考えてみよう！
ルールづくりや機運を高める活動からはじめませんか！？



公園のイメージをふくらまそう！

実験C：ミニ运动会・ドッグラン

- ・民間事業への期待と可能性。
- ・必要なルールや気をつけること。
- ・グラウンドの多様な利用の可能性。
- ・グラウンドのメンテナンスや利用上必要なルール。
- ・みんなで楽しめる遊び場の条件。
- ・ドッグランの可能性と課題を確認。

- ドッグランは近隣に近く、ニーズも高い！
管理が必要なので、民間事業に期待したい！
- 何をしても他利用者への配慮が必要！
- 多世代で楽しめることが確認できた！年に1〜2回、いろいろな人が参加できるイベントを実施したい！
- グラウンドを傷めない利用に限定する必要がある。
ドッグランは糞尿の問題がある。
- 複数の遊びを同時に行う時の範囲設定にルールが必要！
だれか、仕切る人が必要。
- さまざまな地域の人達と交流ができた！
犬のなき声、臭い等クレームへの対策が必要！

・ニーズを確認できた！
→ドッグランの運営を期待！

・ドッグカフェ、しつけ教室も！
→期間限定の移動動物園
→夏場は子どもの水遊び場に！

・犬の糞尿問題
→ウンチでつくる堆肥作り！環境を考える社会実験として。

・ニーズも多く、地域交流の場にも！
→地域の活性化にもつながる！

・飼い主責任において、気軽に利用できるドッグラン
ニクレーム対応など管理は必要！

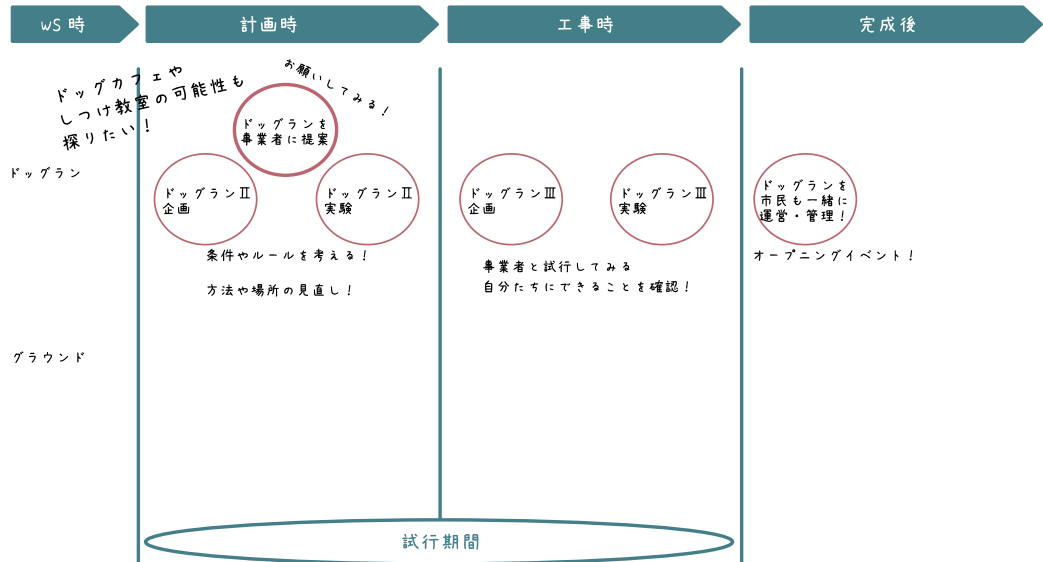
・犬の鳴き声問題。
・犬の嫌いな音（電卓等）問題。
→場所は要検討！

●エリアイメージ



●実現に向けてのステップイメージ

整備後の活動も一緒に考えてみよう！
ルールづくりや機運を高める活動からはじめませんか？



9 : 30 ~ 開会のあいさつ

9 : 35 ~ 前回までのふりかえり

本日のワークショップについて

10 : 10 ~ グループワーク開始

10 : 50 ~ 発表と意見交換

11 : 15 ~ 本日のまとめと次回のご案内

11 : 30 閉会



